

平成29年度学校評価

廿日市市立宮園小学校

中期経営目標	短期経営目標	担当	目標達成のめの方策	評価項目・指標	目標値	最終評価	○成果 △課題 ※今後に向けて	評価指標(目標値)		
宮園小学校版「学びの革新」の推進 確かな学力	習生活時間・善の総合的・革新的な改善	橋本	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの革新アクションプランの宮園小学校版を作成し、学習者基・主体的な学びにつながる課題発見・課題解決学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮園小学校版「学びの革新」を策定し、年間を見通した単元開発や実践を行う。 ・生活科・総合的な学習の時間の授業の満足感を80%以上にする。(児童) 	児童満足度80%以上	3	<ul style="list-style-type: none"> ■生活科・総合的な学習の時間の授業満足感80%以上(生活科: 楽しい98%, 課題発見解決88% 総合的な学習の時間: 楽しい87%, 課題発見解決82%) ○広版「学びの革新」全展開に向けた校内研修3回実施。教職員共通認識(本校が目指す資質・能力、発達段階ごとの具体的な姿) ○生活科・総合的な学習の時間、図画工作科における「課題発見・解決学習」の単元開発と実践。来年度の年間指導計画に位置づけ △生活科・総合的な学習の時間における他学年との取組交流が不十分 ※生活科・総合的な学習の時間の取組をさらに深化、他教科等における単元開発と学習者基の主体的な学びに向けての授業改善 	4	90%以上	
								3	80%~90%未満	
								2	60%~80%未満	
	◎(重点) 確かな学力の定着 【廿日市市共通項目】	上田屋	<ul style="list-style-type: none"> ・帯タイムの活用(算4) ・「宮園小学校授業スタイル」「学習のきまり」「家庭学習の手引き」を徹底することにより、基礎学力の定着を図る。 ・主体的な学びになるように、必然性のある関わり合いのある授業を目指す。 ・つながり発言を生かす(どうですか、わかりました等)。 ・中学校の定期テスト週間にあわせて「家庭学習がんばり週間」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、家庭学習時間(低20分、中40分、高60分)を行う児童の割合を9割以上 	90%以上	3	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭学習時間達成率92%(2学期末「家庭学習がんばり週間」) ○年度初め「宮園小学校授業スタイル」「学習のきまり」「家庭学習の手引き」作成・配付 ○学習規律の取組を全校展開。異学年でも同一基準で同一指導 △図工以外の教科は、関わり合いのある授業の取組交流不十分 ※「宮園小学校授業スタイル」等の年度途中定着度確認、実施状況の交流 	4	95%以上	
								3	90%以上	
								2	80%以上	
								1	80%未満	
								環図画づくり科の授業	松井	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を年2回以上する(研究授業・合同研修会を含む)。 ・年間で各自2領域の授業研究をする(授業観察を含む)。 ・4領域の全ての研修を実施する。 ・学校内を図画工作科のための環境づくりを行う(2年間を見通して)。
	3	80%~90%未満								
	2	60%~80%未満								
	夢と志をもって努力する児童の育成 豊かな心	中礼共催通・項目「向上」小	正木	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・返事・そうじ・はきものそろえをきちんとできる学校にする。 ・縦割り掃除を取り入れ、リーダー性を養う。 ・トイレのスリッパをそろえを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を学期に1回実施する。 ・あいさつをする児童の割合を90%以上にする。 	児童アンケート90%以上	3	<ul style="list-style-type: none"> ■児童アンケート89.7% ○地域・保護者・教職員より「(大きな声で)あいさつをする児童が増えた」との感想多数 △児童アンケート「あいさつをしている」の肯定的評価90%を目指す ※「あいさつ名人」取組の継続、「あいさつ週間」設定 ※あいさつの質の向上(目を見て、大きな声、自分から など) 	4	90%以上
									3	80%以上
2									70%以上	
豊かなことば		竹島	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1~2回程度、講師等による句(川柳・五七五)の指導を行う。 ・講師を招聘して、作品の質を上げる。 ・毎週1度、本校の特選句を新聞等に投稿する。 ・月1度五七五だよりを地域・保護者に配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国新聞(ちゅーびー、ニュース575)等の作品応募に20句以上掲載される。 	20句以上	1	<ul style="list-style-type: none"> ■作品応募4句入賞(国民文化大会、中国新聞、おーいお茶川柳 等) ○ほぼ全児童が、毎週の五七五作りによって作品20句以上 ○毎週学年毎に入選数句と特選1句を選出、昼放送で紹介して五七五作りの意欲向上 △新聞等への掲載点数減、さらなる作品質的向上必要 ※外部講師招聘による川柳教室継続 ※優秀句について解説、児童手本提示 ※「五七五だより」発行回数増 	4	25句以上	
								3	20句以上	
								2	15句以上	
読書習慣の確立		米田	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の読書を推進する。 ・家庭読書の推進期間を設ける(年3回)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の本を年間55冊以上読んだ児童の割合9割以上。 	90%以上	2	<ul style="list-style-type: none"> ■50冊以上読んだ児童80% ○読書習慣の育成のための取組 青空読書会、図書館祭りスタンプカード、一人3冊貸出、図書室内特設コーナー(季節・行事・著者別等)、学級文庫貸出、各階に本紹介コーナーを設置 等 ○ボランティアによる毎週水曜日朝の読み聞かせにより、本への親しみ育成 △高学年へのさらなる働きかけ必要(年間目標冊数達成率、低学年100%、高学年60%) ※読書活動推進員、読み聞かせボランティア、教職員が協働しての図書室児童利用促進(通信作成、イベント企画、図書貸出重点週間 等) 	4	95%以上	
								3	90%以上	
								2	80%以上	
1	80%未満									

健康かな体	進んで心と体を鍛える児童	体力向上	藤森	<ul style="list-style-type: none"> ・ロング昼休憩・学級レクの奨励による体力づくりにより、遊び・運動の好きな子どもを増やす。 ・握力・走力・柔軟性の向上について、重点的に取り組む。 ・体幹を鍛える(立腰)運動を取り入れた。サーキットを体育の授業に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・握力・50M走・長座体前屈の記録が全国平均を上回る学年(男女別)が70%以上にする。 	<p>体力向上 70%以上</p> <p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■全国平均上55.5% 握力上 :2年男子、3年男子、6年男子 長座体前屈上 :1年男子、2年男子、3年男子、4年男子、5年男子、6年男子 50m走上 :3年男子、4年女子、6年男子 ○体育授業でのサーキットトレーニング実施・定着 ○毎月ロング昼休憩(全員遊び)実施により遊びや運動に触れる機会増 ○体育委員会の体幹コーナー等開催による自己体力への関心増 ○なわとびカードやマラソーカードによる取組意欲の向上 △体験コーナー参加児童数や外遊びをする児童数のさらなる増加 ※各取組期間の見直し(一ヶ月間、一学期間 等) 	4	80%以上
		育食の推進を通じた健康教育	青野	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する学級指導を全学年実施する。 ・学級園・学校園でできた作物を学級行事等で活用し、食物の大切さを学ぶ。 ・お弁当の日を設け、学年に応じた取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観・懇談会を通し、食の教育に対する関心を高める。 ・各学年で育てる作物一覧を作成し、学級園の割り当てを再検討する。 ・ピオトープの会の方と連携し、栽培・調理などを通して食物の大切さを学ぶ。 	<p>食育への取組 (年3回以上)</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■食育への取組3回実施 ○食育への取組上半期実施、指導内容を給食指導・学級指導で有効活用 ・6月 5年生「食に関する指導」(給食C栄養教諭)実施 ・9月 「お弁当の日」実施(参加率79.6%) ・10月 3年生「食に関する指導」(給食C栄養職員)実施 ○各学年とも学級園・学校園の作物を収穫・活用、食への興味関心向上 △学習評価やや困難、付けたい力や評価方法の明確化が必要 ※「弁当の日」概ね好評のため継続実施。さらにレベルアップした取組創造 ※「弁当の日」の内容に、廿日市市食育取組テーマ「調理の技を身につける」「和食」を取り入れ、レベル別の参加を企画 	4	5回以上
信頼される学校	地域連携	地域貢献・地域連携	西本	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の地域行事・奉仕活動への参加を増やす。 ・学校へのボランティア活動の人数を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事・町内会の清掃奉仕活動等に参加した児童の延べ人数 ・学校へのボランティア活動に参加した人の延べ人数 ・学校ホームページの項目の見直しと日々の更新を心がける。 	<p>のべ人数 1000人以上</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■のべ人数1040人 ○地域行事への参加意識向上 ○3年及び全校での「感謝の会」実施 △地域行事把握と周知 ※市民Cとの連携、学校HP・学校通信による呼びかけ継続 	4	合計1200人以上
								3	1000人以上
								2	800人以上
								1	800人以下

